

芸術ニュースは世界へ発信するワールド・ステージ

週刊 芸術新聞

発行：アグリーシステム 週刊芸術新聞編集部

本社：千葉県茂原市渋谷1016-12

メール：agree@green.ocn.jp

agree-sys@excite.co.jp

HP：http://weeklyart.seesaa.net/auth/article_preview/

おもしろ体験博物館
江戸民具街道

神奈川県足柄上郡中井町久所418

開館時間：10：00～17：00

休館日：月曜日

問い合わせ：0465-81-5339

メアリー・カサット展

横浜美術館

母子像の名品が
多数出品！

女性の職業画家がまだ少なかった時代に、さまざまな困難を乗り越えて画家と

新しい時代の扉を開いた印象派の女性画家
35年ぶり 待望の大回顧展！

なる意志を貫いた印象派を代表する女性画家、メアリー・カサットの初期から晩年にいたる画業の全貌に焦点をあてた35年ぶりの回顧展。



なかでもカサットの代表作である母子像の名品が多数出品され、イキイキとした画風に引き寄せられる作品となっている。さらに、カサットが愛した日本の浮世絵版画や屏風絵など、約100点を展覧し、初期から晩年にいたる画業の全貌を紹介されている。



メモ

◆ 6月25日(土)～9月11日(日)

横浜都美術館(神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1) TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1600円 大学・専門学校生1100円・高校生800円 中学生600円 小学生以下無料 木曜日休館(8/11を除く)

次号は
7月14日発行今週号で400号目を
迎えることができました

関係者・多くの読者の皆様方に感謝！

「週刊芸術新聞」は関係者・読者の皆様方の熱いご支援を頂きまして、今週号をもちまして通算400号目を迎えることができました。編集部としてはうれしい限りで、感謝・感謝の言

葉しか見つかりません。

ある日のこと、美術関係者から「新聞形式でネット時代に対応した新聞を発行できないものか？」と持ちかけられ、昔新聞記者をしていた経験から、暗中模索の

中からスタートしました。

生意気に「美術論」など

語らない、純粋な美術館・博物館ガイド版に取り組み

ということで発行。お陰さまで、美術館・博物館・ギャラリーから気軽に受け入れて頂くことができ、現在に至る紙面ができました。

今後更精進し、内容の濃い紙面を目指しますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

HP アクセス変更

「週刊芸術新聞」へのアクセスはhttp://weeklyart.seesaa.net/auth/article_preview/を開いていただき、ページの左下「最近の記事」をクリックしますと記事が表示されます。これはいたずら予防策一環なのでご了承下さい。

げます。

(Y・O)

熱海湾を一望でき、眺望ナンバー
ワンの美術館

■ MOA美術館(静岡県熱海市桃山町26-2) 電話0557-(84)2511

一般1600円、高校生800円、中学生以下無料、65歳以上1200円 木曜日休(祝日は開館)

JR熱海駅下車/バス4番のりばMOA美術館行8分

版画でみる20世紀展
ピカソからウォーホルまで
開催中！

■ 諸橋近代美術館(福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峰1093番23) 一般・大学生950円、高校生500円、小・中学生200円 生*毎週土曜日、小・中学生は無料 電話0241(37)1088

江戸民具街道 開館20周年記念特集

モースが愛した
日本とその道具たち日本人として
懐かしさを…今年（2016年）4月、
アンティーク・ミュージアム江戸民具街道（秋澤達雄
館長）は開館20周年を迎え
た。江戸民具街道のコンセ
プトは、実物を見て・触っ
て・体験する。開館当初か

ら深め、民具に込められた
先人の知恵と思いやりの
心、素晴らしい技術とその
美しさ、そのおもしろさを
感じてもらう活動をしてき
ている。

本展『モースが愛した日
本とその道具たち』と題し、
モースコレクションに焦点
を当てた展示を増設してい
る。

エドワード・モースは、
大森貝塚を発見した人物と
して教科書にも登場してい
る。アメリカ人の動物学者
で、明治10年（1877）
に標本採取のために来日。
東京大学の教授にもなり、
明治11年と15年にも来日
し、滞在中に日本各地を巡
り、8000点余りの民具を
アメリカに持ち帰った。

モースは日本人の庶民生活

を記録に残し顕著に表して
いる。モースのコレクショ
ンはアメリカのピーボデ
イ博物館に収蔵されてい
る。

このほど、「モースの部
屋」として、1部屋にモー
スコレクションに関連する
ものを集めた展示室を用意
し、館内全般にモースコレ
クションと同類のものを多
数展示し、モースに関する
書籍も展観できるようにし
てあることから、ぜひ立ち
寄ってみてはいかがでしょ
うか。

メモ

◆江戸民具街
道（神奈川県足
柄上郡中井町久所418）

Tel & Fax 0465 8

15339 月曜日休館

開館時間10時～17時

日本の歴史・文化の
流れの中から論点を
絞ったテーマを選ん
での展示

■国立歴史民俗博物
館（千葉県佐倉市城内
町117） 電話03
（5777）8600
ハローダイヤル 一般
420円、高校・大学
生250円、中学生以
下は無料 月曜日休館

着物、帯、のれん、
屏風、額絵、絵本
等多岐にわたる

■静岡市立芹沢銑介
美術館（静岡市駿河区
登呂5の10の5）電
話054（282）5
522 一般410円
高大生250円、月曜
日休館

庭園ゾーン、書院
ゾーン、体験ゾー
ン、展示ゾーン

■北九州市立小倉城
庭園（北九州市小倉北
区城内1の2） 電話
093（582）27
47 会期中無休

巨匠ティツィアーノ晩年の傑作『受胎告知』日本初公開

ヴェネツィア・ルネサンスの巨匠たち

自由奔放な筆致と色彩表現

14世紀から18世紀にかけてのヴェネツィア絵画を中心に、約2000点を数える充実したコレクションを有している。日本とイタリアの国交樹立150周年を契機として、同館の所蔵品による本邦初の展覧会が実現する運びとなった。

テーマは、ルネサンス期のヴェネツィア絵画で、ルネサンス発祥の地であるフィレンツェの画家たちが、明快なデッサンに基づき丁寧な筆を重ねる着彩、整然とした構図を身上としたのに対して、ヴェネツィアの画家たちは、自由奔放な筆致による豊かな色彩表現、大胆かつ劇的な構図を持ち味とし、感情や感覚に直接訴えかける絵画表現の可能性を切り開いていった。

本展では、選りすぐられた約60点の名画によって、15世紀から17世紀初頭に至るヴェネツィア・ルネサンス絵画の展開を一望する。

ヴェネツィア盛期ルネサンス最大の巨匠ティツィアーノが晩年に手がけた祭壇画の大作、『受胎告知』（サン・サルヴァドール聖



堂）が特別出品され、本展の大きな見どころとなっている。

◆ 7月13日
（水）～10月10日
（月・祝）
国立新美術館企画展示室

2E（東京都港区六本木7-22）
Tel 03-5777-8600（ハローダイヤル）
一般1600円
大学生1200円 高校生800円
中学生以下無料
火曜日休館（ただし8/16は開館）

約10年ぶりの回顧展

ダリ展



初期から晩年までの軌跡

20世紀のスペインを代表する画家サルバドール・ダリは、刺激的で見るものを魅了するイメージを次々と生み出し、それらを精緻で写実的な描法で描き出すことで、世界的にあまりの有名。本展は、スペインのガラ・サルバドール・ダリ財団および国立ソフィア王妃芸術センター、アメリカのサルバドール・ダリ美術館という三つのダリの主要コレクションの作品を中心

に約2000点で構成され、絵画のみならず、グラフィック、オブジェ、ジュエリーなど様々な表現媒体で展開された初期から晩年までのダリの多方面にわたる創作の軌跡をたどる貴重な展覧会。

◆ 7月1日（金）～9月4日（日）
メモ
（金）
京都市美術館 本館北1F（京都市左京区岡崎円勝寺町124（岡崎公園内））
Tel 075-771-4107 一般1600円 高大生1100円 小中生600円 会期中無休

土偶から妖怪ウォッチまで

大妖怪展

江戸東京博物館

不気味ながら愛らしさも：

妖怪は、日本人が古くから抱えてきた、異界への恐れ、不安感、また「身近なもの」を慈しむ心が造形化されたもの。「百鬼夜行絵巻」（ひやつきやぎようえまき）などに描かれた妖怪たちの姿は、一見すると不気味ながら、実に愛らしさにあふれているのが見られます。

本展では、古くから日本で愛されてきた妖怪、すなわち「異界への畏れの形」の表現の展開を、縄文時代の土偶から、平安・鎌倉時代の地獄絵、中世の絵巻、江戸時代の浮世絵、そして現代の「妖怪ウォッチ」まで、国宝・重要文化財を含む一級的美術品で紹介。民俗学にかたよりがちな従来の妖怪展とは一線を画す美術史学からみた「妖怪展の決定版」といえる。

◆ 7月5日（火）
メモ
～8月28日（日）
江戸東京博物館1F特別展示室（東京都墨田区横網）
Tel 03-626-9974 一般1350円 大学・専門学校生1080円 中学生（都外）・高校生・65歳以上680円 小学生・中学生（都



Yōkai in the Arts of Japan
内 800円
月曜 休館
日曜 8/15
開

特集

特別展『古代ギリシャ』

—時空を超えた旅—

東京国立博物館では、平成館で『古代ギリシャ』、本館特別5室では日韓国交正常化50周年記念『ほほえみの御仏』がそれぞれ開催され、多くの話題を呼んでいる。

大規模なギリシャ美術展

ギリシャの彫刻、フレスコ画、金属製品などを展示している。新石器時代からヘレニズム時代までの各時代、キュクラデス諸島、クレタ島ほかエーゲ海の島々や、アテネ、スパルタ、マケドニアなど、ギリシャ各

地に花開いた美術を訪ねる旅となっている。ギリシャ本国の作品のみによるものとしては、かつてない大規模なギリシャ美術展は圧巻！。



展覧会のみどころ
第1章 古代ギリシャ世界のはじまり（前6800年紀）

前11000年頃
第2章 ミノス文明（前3200年頃～前1100年頃）
第3章 ミュケナイ文明（前1600年頃～前1100年頃）
第4章 幾何学様式～アルカイック時代（前900年頃～前480年）
第5章 クラシック時代（前480年～前323年）
第6章 古代オリンピック



ク
第7章 マケドニア王国
第8章 ヘレニズムとローマ（前323年～）

メ
6月21日（火）～9月19日（月・祝）

東京国立博物館平成館（東京都台東区上野公園13-9）
TEL 03-5777-8600（ハローダイヤル）
一般1350円 大学・専門学校生1080円 中学生（都外）・高校生・65歳以上680円 小学生・中学生（都内）680円
月曜日休館（7/18、8/15、9/19は開館、7/19は休館）

日韓国交正常化50周年記念特別展「ほほえみの御仏」

二つの半跏思惟像



半跏思惟像（はんかしゆいぞう）は、仏教の

東京国立博物館本館特別5室（東京都台東区上野公園13-9）
TEL 03-5777-8600（ハローダイヤル）
一般1000円

メ
6月21日（火）～7月10日（日）

母国・インドにはじまり、中国、朝鮮半島、日本へと伝わった。日本や朝鮮半島では6世紀から8世紀の間に多くの像がつくられ、そのなかには古代仏教彫刻の傑作といわれる仏像がある。奈良県の中宮寺門跡（ちゅうぐうじもんぜき）に伝わる国宝の半跏思惟像はその一つで、優しく微笑む顔は誰もが知るところです。また、韓国国立中央博物館所蔵の銅製の半跏思惟像は、国宝78号像として広く親しまれている。本展は、日本と韓国の仏像の美を堪能するいい機会となる。

大学 高校生 0円 中学生 400円 小学生以下 無料
日休館 月曜

2016年8月7日までの主な展覧会情報

美術館・博物館ガイド

東京都内

●東京国立博物館

「ほえみの御仏 二つの半跏思惟像」 7月10日まで

Tl 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 無休

●上野の森美術館

「ブータン しあわせに生きるためのヒント」 7月18日まで Tl 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1400円 無休

●東京国立近代美術館

「声ノマ 全身詩人 吉増剛造展」 8月7日まで Tl 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 月曜日休館

●東京都庭園美術館

「メデイチ家の至宝」 7月5日まで Tl 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1400円 6/22休館

●出光美術館

「典Ⅲ 江戸絵画の華やぎ」 7月18日まで Tl 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1800円 無休

5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 月曜日休館

●講談社野間記念館

「近代日本の美人画展」 7月18日まで Tl 03 945 0947 一般500円 月・火曜日休館

●ワタリウム美術館

「園子温展 ひそひそ星」 7月10日まで Tl 03 3402 3001 一般1000円 月曜日休館

●根津美術館

「特別企画 若き日の雪舟」 7月10日まで Tl 03 3402 5336 一般1100円 月曜日休館

●渋谷区立松濤美術館

「中島千波とおもちやシリーズ 画家のひみつ」 7月10日まで Tl 03 465 9421 一般500円 月曜日休館

●森美術館

「六本木クロッシング…僕の身体、あなたの声」 7月10日まで Tl 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1800円 無休

●森アートセンターギヤ

「一般1800円 無休」

「ラリ」 「世界遺産 ポンペイの壁画展」 7月3日まで Tl 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1600円 無休

●智美術館

「秋山陽アルケルへの海へ」 7月24日まで Tl 03 5773 3513 一般1000円 月曜日休館

●泉谷博古館分館

「数寄者住友春翠 和の美を愉しむ」 8月5日まで Tl 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般800円 月曜日休館

●世田谷文学館

「上橋菜穂子と〈精霊の守り人〉展」 7月3日まで Tl 03 5374 9111 一般800円 月曜日休館

東京郊外

●府中市美術館

「麗しき故郷「台湾」に捧ぐ立石鐵臣展」 7月3日まで Tl 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般700円 6/27休館

●武蔵野市立吉祥寺美術

「展」 8月7日まで Tl 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般700円 6/27休館

館「佐伯和子展…糸の葉」 7月18日まで Tl 04 222 0385 一般1000円 6/29休館

●東京富士美術館

「ザ☆刀剣 千年の匠の技と美」 7月3日まで Tl 04 2691 4511 一般800円 月曜日休館

関東南部

●川崎市市民ミュージアム

「生きるアート 折元立身展」 7月3日まで Tl 04 4754 4500 一般700円 月曜日休館

●横浜みなと博物館

「東日本大震災 石巻かほく復興写真展」 7月3日まで Tl 04 4522 0280 無料 6/27休館

●神奈川県立金沢文庫

「泥亀(でいき) 永島家の面影」 7月31日まで Tl 04 5701 9069 一般250円 月曜日休館

●鎌倉国宝館

「常盤山文庫名品展」 7月18日まで Tl 04 6722 0753 一般400円 月曜日休館

●佐野美術館

「日本近代洋画の巨匠 和田英作展」 8月7日まで Tl 04 4331 3131 一般700円 月曜日休館

55 975 7278 一般1000円 木曜日休館

●静岡市美術館

「大観・萩彦・龍子らと修善寺」 Tl 05 4273 1515 一般1000円 月曜日休館

関東北部

●茨城県近代美術館

「無限迷宮への夢 エッシーの世界」 7月10日まで Tl 02 9243 1111 一般1190円 月曜日休館

●しもだて美術館

「松本零士展 夢の彼方へ」 7月10日まで Tl 02 9623 1601 一般700円 月曜日休館

●笠間日動美術館

「田嶋陽子 書アート展 こもれる日々」 7月24日まで Tl 02 9672 2160 一般1000円 月曜日休館

●佐野市立吉澤記念美術館

「家族のはなしをしよう」 7月3日まで Tl 02 8386 2008 一般510円 6/27休館

●足利市立美術館

「没後40年 高島野十郎展」 7月31日まで Tl 02 8443 3131 一般700円 月曜日休館

ルネ・ラリックの生涯と出会う

■箱根ラリック美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186番1) 電話0460(84)2255 一般1500円、大学生・高校生・シニア(65歳以上)1300円、中学生・小学生800円年中無休

からくり人形な関係資料多数展示中

■江戸民具街道(神奈川県足柄上郡中井町久所418) 電話0465(81)5339 月曜日休館

箱根の景観と自慢のスウィーツを楽します

■箱根写真美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300432) 電話0460(82)2717 火曜日休館 毎週土曜日は夕方5時まで営業

Art Topics

Art Gallery LOS PINOS & Cafe



この季節に、ハスの花の魅力を、今、開花。作家在廊日11日、月、木曜日。『ハスの花の話』の講演会。

齋藤さゆり展

ハスの花の魅力、今、開花

最中、ハスの葉茶も。

メモ

ery LOS PINO (金) 7月10日

営業時間 12時～19時
水曜日休廊
Saito & Cafe (神奈川)
県藤沢市南藤
沢7-6-1
02-266-0100
TEL 02-266-0100

この夏休みに
行ってみた～い!



世界鉄道博2016

この夏、横浜で夢の鉄道ワールドへ!

《見どころ》・超巨大鉄道模型 レイアウト出現!

幅約30メートル、奥行約10メートル、走行距離約650メートルの壮大な鉄道模型レイアウトがお目見え。縦横無尽に走行するたくさんの車両模型に、目が釘づけに!

・鉄道模型 1000車両がずらり

著名な鉄道模型製作・収集家、原信太郎氏(1919～2014)が生涯をかけて収集した鉄道車両模型の数々。自慢のコレクションの中から、未公開の貴重な「HOGEEJ」約1000車両を一堂に展示。今で

はめつたに見られない貴重な模型の数々は、一見価値あり!

「みんなで描く夢の鉄道」コーナー

何種類かの台紙から自分の好きなものを選び、ぬり絵タイム。自分で色づけしたオリジナルの列車が大型スクリーン上を走り回る!

・ファミリーで楽しめる「きかんしゃトーマス」コーナー!

大人から子供まで、ファミリーで楽しめるデジタル・インタラクティブ体験コーナー。スクリーンの前で動くと、不思議なことが起こる。内容はお楽しみ!

その他にも色々なアトラクションあり。

宇宙と芸術展

かぐや姫、ダ・ヴィンチ、チームラボ

六本木に「宇宙の入り口」できました!こんなキャッチフレーズに驚き。かぐや姫は宇宙人だったのか、天才ダ・ヴィンチの天文学手稿、日本初公開、古今東西、アートオデッセイなど。



森美術館 (東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー53階)
TEL 03-5777-8600
(ハローダイヤル) 一般1500円 学生(高校・大学生)1100円 子供(4歳～中学生)600円
会期中無休

メモ

◆ 7月30日 (土) 7月31日 (土) 森美術館 (東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー53階) TEL 03-5777-8600

メモ

◆ 7月16日(土) 9月11日(日) パシフィコ横浜展示ホールA (横浜市みなとみらい) 開場時間: 10:00～16:00 大人(高校生以上)1500円 大学・専門学校生1080円 子供(3歳～中学生)800円 会期中無休

・鉄道車両と記念撮影大きく引き伸ばした鉄道模型と一緒に記念撮影ができる。列車でゴトゴトミニトレインに、親子そろって体験乗車ができるコーナー! 充実の鉄道グッズ子供が大好きなグッズから、レアなものまでがそろった特設ショップ。ここでしか手に入らないオリジナル商品も。